

躍進する生長の家社会事業団

SEICHO-NO-IE-SHAKAI-JIGYODAN

創始者谷口雅春先生の願いを正しく受けつぎ、国と社会に貢献する事業を展開しています。

公益財団法人
生長の家社会事業団

〒186-0003

東京都国立市富士見台2丁目39-1

TEL:042-843-0075 発行人:久保文剛

FAX:042-843-0076 編集人:佐々木憲彦



谷口雅春先生

安倍元総理のご遺志を受け継ぎ「美しい日本」を取り戻そう!!

《今月拝読の御言葉》

谷口雅春先生

常に「光」を見よ

常に「光」を見よ! 「暗」を見ること勿れ。常に昇り行く姿を想像し、墜落する姿を想像するな。…常に自分の運命が騰って行く姿を想像せよ。「自分は運命が昇る、昇る!」と想像せよ! そうすれば貴方は運命が昇るよりほかに仕方がないので。

そんな事を云ったからとて、…こんな仕事をしながら、いくら将来の運命の昇り行く有様を想像したとて一向運命がよくなりそうではないとお考えになる人もあるかも知れませんが。

多くの人はそう考えて、失望し、意気沮喪し、躓き落伍したのです。併し今ある仕事が将来の幸福に無関係だと云う筈は決してあり得べからざることなのです。…

今の仕事に感謝して精を出すこと。そこからこそ輝かしい明日の日が生まれて来るのです。

(新装新版『真理』第1巻109〜111頁)

安倍元総理の御霊に

謹んで哀悼の誠を捧げます

「安倍晋三元総理銃撃」の一報に、奇蹟の蘇生を信じる国民の祈りの中、元総理は「殉国の士」となられました。

あの日、私たち生長の家社会事業団では、ただひたすら聖経『甘露の法雨』等の連続読誦をさせていただきました。

安倍元総理は、「美しい日本」を取り戻すために、「教育基本法」の改正を成し遂げられ、「憲法改正」の国民運動の先頭に立たれ、御皇室の正統な皇位の継承のためにその命を懸けられました。さらにその卓越した人間性と指導力は国際社会に最も影響力のある政治リーダーとしての地位を占め、総理退任後も国際社会から大きな期待が寄せられていたのです。まさに、巨星墜つ、未だ世界各国から寄せられる哀悼と讃辞は後を絶ちません。

尊師谷口雅春先生は、その著『国のいのち人のいのち』の中で、「誰か勇氣あり、意志堅固にして、広大なる肚腹を有し、愛国の志氣旺盛なる政治家は出でざるか」(143頁)と書かれました。まさに、安倍晋三元総理の姿と重なる想いが致します。

さらに尊師は、片手に「死」を携えて理想に生きた人として、イエス・キリスト、吉田



7月8日ご逝去の夕刻、郷里山口県の上空に現れた鳳凰の形をした雲(谷口雅春先生著)

松陰先生、三島由紀夫大人、楠木正成公の名をあげておられます。(同著143〜147頁)

「神を知り、祖国を知り、祖先を知り、霊を知り、祈りを深めて、神霊の導きによって、より高邁なる理想をもち、それに「全生命」を捧げんとするがために、片手に不惜身命の「死」を携えて、何時にても悔いなく死ねるといふ悟境を以て、その高邁なる理想に向かって勇敢に進み行く人たちである。

かくすればかくなるものと知りながら やむにやまれぬ大和魂

と詠じた吉田松陰先生の如きは、祖国の霊に導かれて、祖国の実相顕現のために、ひたすら邁進した人だと私は畏敬するのである」(同著143〜144頁)

「三島由紀夫氏は「死」を片手にたずさえて、自分一代の「死」だけでは、この占領憲法を廃棄することが出来なくとも、七たび生まれ変わって此世に出て国を護るぞということを実際信じて割腹して現世の生を断たれたのである」(同著144頁)

かかる尊師の御文章を読み進むなか、改めて凶弾に倒れた安倍元総理の死の意味を深く考えさせられました。ああ、安倍晋三元総理は、「祖国の霊に導かれて、祖国の実相顕現のために、ひたすら邁進した人」であり、三島由紀夫大人とともに「憲法改正の人柱」となられたのだ!

今こそ、悲しみの涙を拭い、安倍元総理のご遺志を受け継ぎ、天皇家日本の実相顕現のために、皇位の正しい継承と憲法改正の啓発活動に立ち上がるのではありませんか。それこそは、谷口雅春先生を永遠の尊師と仰ぐわれらの使命であります。(理事 國弘昭義)



谷口雅春先生著『国のいのち人のいのち』

秋のお彼岸には多くの霊牌を供養し ご先祖様に感謝の真心を届けましょう

本欄では、先祖供養の意義や功德、生長の家独特の「霊牌供養」等について紹介してまいりましたが、今回は、亡くなった人と現世に生きる者との関係について、「質疑」にお答えします。

▲質問▼

亡くなった父と私とのつながりは
どうなるのでしょうか

父が去年他界しました。一緒にテニスをするなど父とよく行動していたので、悲しい気分になります。あの世へ行った父は、もう私のことは忘れて、全く関係なく生きていくのでしょうか。そうだとすると、父とのつながりは永遠に終わっただけという心の練習をした方がいいのでしょうか。それにはどうすればいいのですか。これから喜んで生きられるようお教え下さい。(29歳・女性)

▲回答▼

霊界からいつもあなたのことを
見守ってくださっています

あなたにとってお父様の他界は、さぞかし辛いことであつたでしょう。一緒にテニスをするなど、とても仲が良かったご様子に、悲しみの深さはいかばかりかと拝察します。

生長の家では、肉体がなくなつても、「生命」は生き続け、個々の人格の特性(個性)をそなえたまま、「無限生長の道」を歩んでいくと説かれています。ですからあなたのおっしゃる通り、お父様は今も生き続けていらつしやるのです。しかし、あなたのことを忘れて、「全く関係なく生きていらつしやる」ことは絶対にありません。

例えば、回答者の私にも4人の子供がいますが、長期出張に出たときも、子供達のことを一時も忘れたことはありません。

ん。また、出張先に熱を出したなどと連絡が入つたら、心配で居ても立ってもいられなくなつてしまいます。

同じようにあなたのお父様も、霊界からいつもあなたのことを見守つてくださっています。ですから、あなたが悲しい気分を毎日過ごしていたら、お父様はご心配なさることでしょう。今、あなたがお父様に出来る親孝行は、悲しみを乗り越えて、明るく喜びに満ちた毎日を歩み出すことなのです。

そして、その喜びを毎日お父様に報告するのです。それには二つの方法があります。

聖経読誦、霊牌供養の素晴らしさ

その一つはお父様に電話をかけるような気持ちで、仏前または神前で、聖経『甘露の法雨』を声に出して読むことです。(お時間のない方は、聖経『天使の言葉』に収録されている『久遠生命』の神示を説読してください)

あなたの思いと真理の言葉の素晴らしさがお父様に伝わり、さぞかしお喜びになることでしょう。但し、霊界でお父様は修行をなさつていらつしやるので、毎日一定の時間を約束してお読みになることをお勧めします。

もう一つはお父様に手紙を書くような気持ちで「霊牌」という指定の紙にお父様のお名前を書き、毎月の誌友会や「生長の家社会事業団」「谷口雅春先生を学ぶ会」等で行なわれる先祖供養祭に提出し、招霊供養してもらうことです。

人間の生命は永遠の存在です

最後に谷口雅春先生の心に沁みる御文章を紹介いたします。

「あなたの愛する『誰か』がこの世から去つて逝つたからとて神の愛を疑つてはなりません。決してあなたの「愛する人」はなくなつたではありません。人間の生命は「神の生命」が宿っているのですから、永遠の存在であり、久遠滅びざる存在なのです。…あなたが「その人」を思うときその人の「霊」はすでにあなたの側にいるのです。無論、霊界も現実界と同じく、唯心所現の世界でありますから、…そ

ご先祖様とおばあちゃんが
大安心の安産に導いてくれた!!

福島県 戸板由美子(70歳)

平成29年、山形に住んでいた二男夫婦に男の子が誕生したときのことです。お嫁さんは持病があり、治療しつつのお産でした。予定日通りの出産だと母胎に負担がかかるので、入院して薬で一週間早く陣痛を促すことになりました。

しかし薬が功を奏せず、何度か繰り返すごとに心身共に疲弊してしまいました。特にお嫁さんは初めての子を流産していたこともあり、不安でいっぱいでした。そういう状況で無事出産できたのは、亡くなったおばあちゃんのお陰だと、退院後私に次のように話してくれました。

「ベットの居て不安に押し潰されさうになった時、ふと枕元に目をやると、亡くなった「ばあちゃん」が立っていて、「大丈夫」という様に

の心境相応の世界に住んでいることは現世と一向異なりません。それゆえ、霊界の祖先霊、縁者の霊などの心境の向上のために、…仏壇または祖霊祭祀の宝壇の前で聖経『甘露の法雨』を読んであげることは、霊界の諸霊を救済するところの非常な功德ある法施(真理の供養)となるのであります」(如意自在の生活365章 174頁 傍線編集部)

秋のお彼岸には
多くの霊牌をお書き下さい。

秋季 物故者顕彰慰霊 先祖供養祭

9月25日(日) 午前11時〜(全国練成道場)
※霊牌は9月24日までに届くようお送り下さい。



練成全国報恩先生雅春谷口 祭供養先祖の場道における

いつもの笑顔で見ている。その顔を見たら涙が溢れてきて、気付いたらスーッと気持ち楽になつていた」。

それから間もなく陣痛が始まり、大安心の心で出産に臨むことができました。安産、しかも予定日通りでした。

このおばあちゃんは母親代わりにお嫁さんを育てて下さった方で、おめでたを知ったとき90歳。孫の赤ちゃんと会えることを楽しみにしていました。しかし山形の夏は猛暑です。何とか乗り切つたものの10月に体調を崩し、慌ただしく旅立たれました。

私は安産祈願とともに、真心込めてご先祖様、おばあちゃんのご供養を続ける内に、感謝の心、真理の供養による善念を祖先の霊魂が喜ばれ、子孫の生命が幸せに続くよう護つて下さつていらっしゃることを実感しました。二男夫婦の出産を通じて、祈りとご先祖供養の大切さを改めて学ばせていただきました。

人類の聖典『生命の實相』全巻を拝読し、 聖經『甘露の法雨』の携帯・読誦を実践しよう!!

『生命の實相』と私(第10回)

“天皇国日本の理念の復興”に

少しでも貢献できるように

千葉県 今里博教(72歳)

占領憲法改正の早期実現を目指して、旗を振っていた安倍元総理の突然の訃報。51年前(昭和45年)の三島義拳を知った時と同じく大きな衝撃であった。

谷口雅春先生は、三島義拳の意義を「自己崩壊を来たさんとしつつある



著者 谷口雅春先生
『愛国は死を超えて』

我が国に祖国愛の精神を復活せしめて、危機に面するわが国を救わんがため(昭和46年『愛国は生と死を超えて』)と述べられ、次のように叱咤激励されている。

「諸君の如き愛国青年が、今起たずして何時起つべきか…真に日本国を衛る者は生長の家の諸君のほかには何処にもないのである」(『理想世界』誌・昭和43年7月号)

このお言葉は、そのまま安倍元総理の訃報にも通じるものである。

私が生長の家を知ったのは、親戚から時折頂く『白鳩』誌からであった。

昭和43年夏、浪人中の京都で宇治の一般練成会に途中参加。学生運動が激しくなった2年目の昭和44年、郷里の長崎に戻り、入試直前の12月、福岡には道場の一般練成会に参加。初めて受けた「浄心行」で父母

の恩愛に涙し、深く感謝することが出来、「既に大学に通う姿を暇の裏に描きつつ」神想観を実修して京都大学に合格することが出来た。

昭和45年、未だ学園紛争の跡が残る大学であったが、「京大生命の實相研究会」並びに「京都生学連」他の諸先輩から、今まで知らなかった世界情勢や「天皇国日本の理念」等を学んでいた11月、衝撃の三島義拳。谷口雅春先生の御心に応えるべく覚悟を決めて生学連活動に励み、青年会全国大会や大学生練成会等で感激の谷口雅春先生によるご指導を受けつつ、情宣・オルグ活動や誌友会等を開催してきた。

昭和51年に企業に就職。退職した今も当時の決意を忘れることなく、「天皇国日本の理念の復興」「日本も久遠無窮の理念が失われたとき弱体化するのである。理念が本場の「日本」であって、形はその影にすぎない。日本を大いに復興しようと思えば、「日本」の理念を復興しなければならぬ」(『生命の實相』頭注版第38巻13頁)に少しでも貢献出来るように、『生命の實相』全巻及び聖典を拝読しています。



日本武道館傍、千鳥ヶ淵に向かう桜並木で

甲状腺癌から救われ、職場にも復帰!!

東京都 秋島千花子(61歳)

私は生長の家に33年前に出会い、人生の様々な難問を『生命の實相』の御教えで救っていただきました。なかでも大きな出来事は3年前、健康診断の精密検査で甲状腺癌が見つかった時のことです。

まさか私が癌に…。大きなショックで夜も眠れない程の不安に襲われ、谷口雅春先生を学ぶ会の前原幸博講師の個人指導を受けました。そこで「聖

経『続々甘露の法雨』を黙読でも良いので一日一回は読むと良い。神様は護って下さってるよ」とご指導頂き、家事や仕事の合間に読誦しました。すると不安は消え、神様に全托の心境に変わりました。特に「手術で声が変わるかも知れない」と言われたことがとても気がかりでしたが、その不安も消え、告知から半年後、手術は成功し、声も変わることなく幸運でした。

手術後、健康のため、ある料理教室に通いました。その相談室で「好きな事をすると良いよ」と助言を受け、思わず「腹話術をやりたい」と小学生の頃からの夢を語ると、なんと腹話術の先生を紹介して頂き、夢への第一歩を歩み始めることが出来ました。以前働いていた保育園のクリスマス会で披露すると、子供達は大喜び。笑いの渦に包まれ、笑いのエネルギーで私自身、元気を頂きました。

一度は「奇蹟が起き、病が消えたら良かったのに」と思ったこともありましたが、病を通して沢山の喜びを頂きました。全ての事が当たり前でなくありがたいと思える豊かな心になれたこと。主人が以前より優しくなったこと。夢を実現できたことなどです。

「子供をして彼自身を「神の子なり」と信ぜしめよ。神父はその子をその全能の力にて常に完全に導き給い、無限生長に導き給い、どんな不遇の場合にも必ず守りていたまうことを信ぜしめよ」(新編『生命の實相』第22巻103〜104頁)との御文章のとおり、神の子である私のことを常に護って下さっていたのだなあと、心から感謝せずにはいられません。



子供達のために腹話術を始めて

生かされた生命を、家庭、職場などで役に立てよう生きて行きます。

【税務上の特典】生長の家社会事業団への寄付は、税制上の優遇措置（税額控除等）の対象となります。

五つの事業を支える奉讀者570名御芳名

これまで「献資下さった方々の御芳名を謹んで記載させていただき、深甚の感謝を捧げさせていただきます。

生長の家のみ教えを正しく護り
伝えるために!!

1口33万円の特別献資に
ご協力ください!! (分割も可)

＜当事業団が行っている五つの創立記念事業＞

- ①聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』を永遠に護り抜く
- ②谷口雅春先生報恩全国練成会の開催
- ③「生長の家教義」研修講座と青少年練成会の全国展開
- ④「児童養護施設生長の家神の国寮」の運営
- ⑤「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大

— これらの事業は皆様の尊いご献資で支えられています —

今から77年前の昭和20年、敗戦によって希望を失った国民に対し、谷口雅春先生は日本再建のための一大政策「生長の家社会事業団の設立」を発表されました。それは立教以来の個人の魂の救済、病気の神癒、人生の苦難の解決という個の救済運動とともに、それを超えて国家救済、世界救済をめざすという一大構想でした。

そして、これら施策の遂行をなしとげるため谷口雅春先生は、聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』等の著作権を「生長の家社会事業団」へ基本財産として寄付されたのです。

このことは聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』に基づく正しい生長の家教義の久遠の護持とその普及を当法人に託されたことを意味します。

私達、生長の家社会事業団は、この谷口雅春先生の教えと願いを大きく発展させ、正しい「生長の家」を次世代につなぐため、皆様に「ご寄付の協力を仰ぐ次第です。」

(同封のご寄付の申込用紙をご参照ください)

読者の皆さまからの「喜びの声」

★毎号、紙面の隅々に至るまで神様の愛と祝福に満たされた機関紙は、『シリーズ解体』と共に、今も教団に縛られている皆さんにどうしてもお伝えしたく、毎号30部をお送り頂きまして有難うございます。

又、夏号(No.30)の秘話「大日本神国観はこうして護られた」の記事を拝読して、信仰が更に堅信へと導かれる思いをかみしめています。日々、大日本神国観を行じさせて頂ける幸せも、多くの生長の家先達の方々の熱誠の「賜もの、であることを知り、尊師谷口雅春先生への感謝と共に、先達の皆様への感謝を忘れず、「日本国実相顕現」への願いと伝道への決意を新しくしております。(富山県・永田由紀子)

★初夏号(No.29)の「聖經『甘露の法雨』はこうして守られた」を拝読し、改めて谷口雅春先生の生長の家社会事業団に対する強い想いを感じさせて頂

きました。明確に『甘露の法雨』『天使の言葉』『続々甘露の法雨』『大日本神国観』『真理』等の著作権をしっかりとご寄附なさっておられたことは、今日の180度変節した現教団を予言されていたかのように感じます。

谷口雅春先生が『理想世界』誌昭和32年4月号で、偽経を創作することを厳しく戒められていたことから、谷口雅宣氏は大罪を犯していると言わざるを得ません。しっかりと『生命の實相』『甘露の法雨』等を守り抜き、人類光明化運動、天皇国日本実相顕現運動に邁進してまいりたく決意を新たにしました。(大阪府・馬場則男)

感想をお寄せください!!

「躍進する生長の家社会事業団」をお読みいただいた感想を、FAX又は右のQRコードでお寄せください。FAX:042-843-0076



住吉大神の祝福燦々と降り注ぎ給う
「神癒・聖經供養」祈願にお申し込みを！
問題解決、神癒の体験続々と！

神様の祝福に満ちた幸福人生を招く
「聖使命奉讃会」(月額一〇千円)
にご入会ください。

にご入会ください。

9月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(木)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半~	道場
2(金)	實相金剛身の神示祭	11時~	社殿
5(月)	生死の教の神示祭	11時~	社殿
15(木)	靈魂進化の神示祭	11時~	社殿
22(木)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11時~ 13時半~	社殿 図書館
25(日)	物故者顕彰慰霊 先祖供養祭	11時~	道場
27(火)	大調和の神示祭	11時~	社殿
28(水)	最後の審判、に就いての神示祭	11時~	社殿

10月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(土)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半~	道場
22(土)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11時~ 13時半~	社殿 図書館
23(日)	物故者顕彰慰霊 先祖供養祭	11時~	道場

「場所」欄の「道場」は全国練成道場、「図書館」は図書資料館、「社殿」は同屋上の龍宮住吉本宮社殿です。どなたでも自由に参加できます。

生長の家社会事業団は、谷口雅春先生の正しいみ教えを伝えるあらゆる団体、人々を支援しています。

◆「神癒・聖經供養」毎朝9時~10時30分
谷口雅春先生報恩全国練成道場において
行っています。自由にご参加ください。

◆「全国練成道場講師陣」による個人指導
お悩みや心配事がある方は、気軽にお申し
込みください。(遠方や急ぐ方は電話でも)

◆図書資料館定期一般開館日のお知らせ
9月8日・15日、10月6日・20日
午前11時~午後3時(原則第1・3木曜日)

◆『生命の實相』輪読会(毎月22日図書資料館)
9月・10月は新編第14巻(頭注版第8巻)
の観行篇です。

人生の苦しみの多くは嫉妬心から来るのである。嫉妬は憎みを招び、争いを招び、あれほど真理を知っているはずの人が、感謝しなければならぬ人をさえ憎むようになるのである。(『生命の實相』頭注版第38巻 幸福篇)